



平成27年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 松屋

コード番号 8237 URL <http://www.matsuya.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員

(氏名) 秋田 正紀

問合せ先責任者 (役職名) 総務部IR室担当課長

(氏名) 関 泰程

TEL 03-3567-1211

四半期報告書提出予定日 平成26年7月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第1四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第1四半期	19,662	11.0	523	121.4	582	124.9	314	—
26年2月期第1四半期	17,715	2.4	236	188.5	259	135.7	△39	—

(注) 包括利益 27年2月期第1四半期 383百万円 (△23.7%) 26年2月期第1四半期 503百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
27年2月期第1四半期	5.93	—
26年2月期第1四半期	△0.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
27年2月期第1四半期	46,195	16,394	35.1	306.35
26年2月期	45,604	16,144	35.0	301.19

(参考) 自己資本 27年2月期第1四半期 16,229百万円 26年2月期 15,956百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
26年2月期	—	0.00	—	2.50	2.50
27年2月期	—	—	—	—	—
27年2月期(予想)	—	2.50	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	36,000	2.8	600	8.2	650	3.1	200	△45.7	3.78
通期	78,000	3.3	1,600	5.1	1,600	1.9	800	△40.1	15.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年2月期1Q	53,289,640 株	26年2月期	53,289,640 株
② 期末自己株式数	27年2月期1Q	311,629 株	26年2月期	311,599 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年2月期1Q	52,978,039 株	26年2月期1Q	52,978,070 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
(1)	連結経営成績に関する定性的情報	2
(2)	連結財政状態に関する定性的情報	3
(3)	連結業績予想に関する定性的情報	3
2.	サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1)	当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2)	四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3)	会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3.	四半期連結財務諸表	4
(1)	四半期連結貸借対照表	4
(2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3)	継続企業の前提に関する注記	8
(4)	セグメント情報等	8
(5)	株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期(平成26年3月1日～平成26年5月31日)におけるわが国経済は、現政権下の経済政策や日銀による金融施策を背景に円安と株価上昇が続き、また消費税増税に伴う駆け込み需要の影響もあり、個人消費が増加するとともに企業業績が改善する等、景気は緩やかな回復基調のうちに推移いたしました。

百貨店業界におきましても、高額品等を中心に堅調な動きが見られ、東京地区百貨店売上高もこの間、消費税増税の反動が一部あったものの前年実績を上回りました。

こうした状況の中、当社グループでは、2年目を迎えた「中期経営計画」(2013～2015年度)の基本方針に沿った諸施策に引き続き取り組み、業績の向上を目指してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は19,662百万円と前年同四半期に比べ1,946百万円(+11.0%)の増収となり、営業利益は523百万円と前年同四半期に比べ287百万円(+121.4%)の増益、経常利益は582百万円と前年同四半期に比べ323百万円(+124.9%)の増益、四半期純利益は314百万円と前年同四半期に比べ354百万円の改善となりました。

<百貨店業>

百貨店業の銀座店では、中期経営計画の基本方針の下、個性的な百貨店「GINZA スペシャルティストア」のさらなる進化を推進すべく、当第1四半期におきましては食品ゾーンを24年ぶりに大規模に改装いたしました。地下1階では話題性のある集客につながる新規スイーツブランドの導入や和洋酒売場の拡大、地下2階では生鮮・グロッサリー売場の再編等、上層階とのグレードとテイストの統一を図り買廻り性の向上に尽力してまいりました。また、リビングフロアを中心に全館の取組みとして、デザイン性や機能性に優れた商品を集積した「MATSUYA GINZA DESIGN WEEK」を開催し、昨年のグランドリニューアルに引き続き品揃えの強化で売上の向上に努めてまいりました。一方、円安や東南アジア諸国へのビザ発給要件の緩和等によって訪日外国人が増加し、ラグジュアリーブランドを中心に免税売上高も大きな伸びを見せております。

催事におきましては、文化催事「ディズニー 夢と魔法の90年展」や「MOOMIN!ムーミン展」を開催するなど、独自性と話題性のある企画によって集客力を高め、売上の向上に努めてまいりました。

浅草店におきましては、入居する商業施設「EKIMISE」との相乗効果の発揮に取り組み、施設内を買い廻るお客様の需要を取り込むため地下1階の惣菜売場を改装し、新ゾーン「浅草ごちそう横丁」を開設するなど、業績の向上に尽力してまいりました。

以上の結果、百貨店業の売上高は16,973百万円と前年同四半期に比べ1,721百万円(+11.3%)の増収となり、営業利益は477百万円と前年同四半期に比べ255百万円(+115.7%)の増益となりました。

<飲食業>

飲食業のアターブル松屋グループにおきましては、主力となる婚礼宴会部門で消費税増税前の駆け込み需要等もあり婚礼組数が前年実績を上回りましたが、昨年、受託レストラン部門で一部営業所を閉鎖したことによる減収等もあり、飲食業全体の売上高は前年実績を下回りました。また、原価の低減や人件費等販売管理費の圧縮に取り組みしましたが、営業利益も前年実績を下回りました。

以上の結果、飲食業の売上高は1,328百万円と前年同四半期に比べ39百万円(△2.9%)の減収となり、営業損失は65百万円と前年同四半期に比べ28百万円の減益となりました。

<ビル総合サービス及び広告業>

ビル総合サービス及び広告業の(株)シービーケーにおきましては、主として建装部門、ビルメンテナンス部門における内装・設備工事等の受注が好調に推移し、売上高、営業利益ともに前年実績を上回りました。

以上の結果、ビル総合サービス及び広告業の売上高は1,545百万円と前年同四半期に比べ288百万円(+23.0%)の増収となり、営業利益は40百万円と前年同四半期に比べ36百万円(+764.0%)の増益となりました。

<輸入商品販売業>

輸入商品販売業の(株)スキャンデックスにおきましては、本年2月に千葉、3月に福岡の百貨店内に新規出店し「イッタラ」直営店は14店舗体制となり、順調に売上を伸ばしました。また、「レ・クリント」の好調や消費税増税に伴う駆け込み需要もあり、売上高、営業利益ともに前年実績を上回りました。

以上の結果、輸入商品販売業の売上高は624百万円と前年同四半期に比べ253百万円(+68.5%)の増収となり、営業利益は75百万円と前年同四半期に比べ48百万円(+178.6%)の増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末に比べ、590百万円増加し46,195百万円となりました。これは主にたな卸資産180百万円の増加、投資有価証券234百万円の増加等によるものであります。負債合計は前連結会計年度末に比べ、340百万円増加し29,800百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金481百万円の増加等によるものであります。純資産合計は利益剰余金181百万円の増加等により、250百万円増加し16,394百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成27年2月期の業績予想につきましては、平成26年4月14日付の「平成26年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」における業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,565	2,690
受取手形及び売掛金	5,028	4,988
たな卸資産	2,515	2,696
その他	1,060	974
貸倒引当金	△18	△17
流動資産合計	11,151	11,331
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,028	11,104
土地	14,093	14,093
その他(純額)	400	503
有形固定資産合計	25,522	25,702
無形固定資産		
	407	409
投資その他の資産		
投資有価証券	6,273	6,508
その他	2,283	2,277
貸倒引当金	△33	△33
投資その他の資産合計	8,523	8,752
固定資産合計	34,452	34,863
資産合計	45,604	46,195
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,565	7,046
短期借入金	9,672	10,240
未払法人税等	279	132
賞与引当金	118	346
商品券等回収損失引当金	383	363
ポイント引当金	98	100
その他	4,615	4,739
流動負債合計	21,732	22,968
固定負債		
長期借入金	4,796	3,851
退職給付引当金	401	427
環境対策引当金	29	29
その他	2,500	2,524
固定負債合計	7,727	6,832
負債合計	29,460	29,800

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,132	7,132
資本剰余金	5,639	5,639
利益剰余金	2,181	2,362
自己株式	△427	△427
株主資本合計	14,525	14,707
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,406	1,510
繰延ヘッジ損益	23	11
その他の包括利益累計額合計	1,430	1,521
少数株主持分	187	164
純資産合計	16,144	16,394
負債純資産合計	45,604	46,195

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
売上高	17,715	19,662
売上原価	13,112	14,603
売上総利益	4,603	5,059
販売費及び一般管理費	4,367	4,535
営業利益	236	523
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	29	26
債務勘定整理益	46	48
受取協賛金	4	18
その他	32	40
営業外収益合計	114	135
営業外費用		
支払利息	53	49
商品券等回収損失引当金繰入額	32	19
その他	5	7
営業外費用合計	91	75
経常利益	259	582
特別損失		
固定資産除却損	288	56
その他	1	—
特別損失合計	289	56
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△30	525
法人税、住民税及び事業税	24	138
法人税等調整額	△6	94
法人税等合計	18	232
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△48	292
少数株主損失(△)	△9	△21
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△39	314

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主 損益調整前四半期純損失(△)	△48	292
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	538	124
繰延ヘッジ損益	△1	△13
持分法適用会社に対する持分相当額	14	△20
その他の包括利益合計	551	90
四半期包括利益	503	383
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	512	405
少数株主に係る四半期包括利益	△9	△21

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	百貨店業	飲食業	ビル総合 サービス及び 広告業	輸入商品 販売業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	15,245	1,341	667	353	17,608	106	17,715	—	17,715
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6	25	589	16	637	193	831	△831	—
計	15,252	1,367	1,256	370	18,246	300	18,547	△831	17,715
セグメント利益又は損失(△)	221	△36	4	27	216	22	238	△2	236

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、用度品・事務用品の納入、OA機器類のリース、保険代理業、商品販売の取次ぎ、商品検査業務等が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△2百万円は、セグメント間取引消去等であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	百貨店業	飲食業	ビル総合 サービス及び 広告業	輸入商品 販売業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	16,964	1,302	698	602	19,568	93	19,662	—	19,662
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8	25	846	21	902	200	1,102	△1,102	—
計	16,973	1,328	1,545	624	20,471	294	20,765	△1,102	19,662
セグメント利益又は損失(△)	477	△65	40	75	528	11	540	△16	523

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、用度品・事務用品の納入、OA機器類のリース、保険代理業、商品販売の取次ぎ、商品検査業務等が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△16百万円は、セグメント間取引消去等であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。